



社協だより

第 79 号

令和 2 年 12 月 31 日 発行

発 行 者

社会福祉法人

銚田市社会福祉協議会

会 長 岸 田 一 夫

編 集

調 査 広 報 委 員 会

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL 0291-32-5831

ホームページアドレス <http://www.hokotashakyo.or.jp>



ボランティア スキルアップ 講座

目 次

- P 2 トピックス
 - ・ほこたサンタがやってくる
 - 令和2年度赤い羽根共同募金運動
 - 令和2年度会員会費加入追加報告と
 - お詫びと訂正
- P 3 お知らせ
 - ・新入学児童祝品事業
 - ・多くの善意をありがとう
- P 4 / 5 福祉の「め」
- P 6 福祉絵画
 - ゆたかなふれあい(銚田地区)



11月17日(火)、18日(水)の2日間、社協のボランティアに登録している方を対象にスキルアップ講座を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティア活動が制限されている中、高齢者やお子さまのいるご家庭などを元気づける活動にも使えるアイテムとして、手軽にご家庭でも取り組める折り紙や絵てがみの講座を実施しました。

1日目の「折り紙講座」ではクリスマスリースを題材に折っていただき、色づかいや装飾などにより、それぞれの個性が表現された作品に仕上がりました。

2日目の「絵てがみ講座」では筆の持ち方や線の書き方などの基本的な手法を学び、さらに自分の好きなものを題材にして、思いやりを込めた絵てがみを描きました。

今後は趣味や特技の幅を広げ、新型コロナウイルス感染症と共生する新しい生活様式にも対応したボランティア活動につながることを期待しております。



このマークのついている事業は、赤い羽根共同募金が活用されています。

トピックス



令和2年度 歳末たすけあい事業 ほこたサンタがやってくる



12月20日(日)・23日(水)と2日間にわたって、学校生活の制限を余儀なくされ、生涯にわたって思い出となる事業が中止となってしまった小学6年生並びに中学3年生のいる準要保護世帯のうち、申請のあった26名の方にクリスマスケーキを配る“ほこたサンタがやってくる”を実施しました。

市内洋菓子店のクリスマスケーキと、協賛ではショッピングガーデンアクロス様からはシャンメリー、鹿島アントラーズ様からはスタンプとメモ帳、市内の有志者からはクリスマスリースを提供いただき、クリスマスカードを添えてプレゼントといたしました。

クリスマスケーキなどが入った袋を手にした方からは、「クリスマスケーキ、とても楽しみにしていました。」「美味しいケーキと手作りのクリスマスカードなどを貰って嬉しかったです。これで受験を頑張れます。ありがとうございます。」など、楽しいクリスマスのひと時を過ごせたとの感想が寄せられました。

令和2年度 赤い羽根共同募金運動 募金活動にご協力ありがとうございました。



令和2年10月1日から12月31日まで市内全域ですすめてまいりました赤い羽根共同募金運動では、たくさんの皆さまのご参加・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

お寄せいただきました募金は、茨城県共同募金会を通じ令和3年度銚田市内で行われるさまざまな福祉事業や、茨城県内の社会福祉施設の充実や災害等準備金として活用されます。

今後とも、茨城県共同募金会銚田市共同募金委員会、並びに銚田市社会福祉協議会の地域福祉活動にあたたかいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

※ 令和2年度共同募金運動実績報告並びに寄付者名簿は、後日回覧等でご報告させていただきます。

令和2年度会員会費加入追加報告とお詫びと訂正

社協だより第78号(9月末発行号)以降に、会費加入の追加がありましたので、ご報告いたします。(敬称略)

追加報告	特別会員(7口)	(株)ランバーテック	(有)武田製材所	田山 洋一
	根寄 年子	小堀 和久	匿名 2口	

社協だより第78号(9月末発行号)に誤りがありました。訂正し、お詫びいたします。

お詫びと訂正	特別会員(5,000円/1口) (誤)池田 邦彦 ⇒ (正)田口 邦彦
	団体・法人会員(10,000円/1口) (誤)(株)佐々木建設 ⇒ (正)佐々木建設(株)

お知らせ



新入学児童祝品事業

社会福祉協議会では、共同募金で集められた募金の一部を基にひとり親世帯及び両親のいない子の世帯に対して、小学校入学準備を支援します。

対象者

銚田市内に住所を有する小学校新入学児童と同居する世帯の養育者で、次の各号のいずれかに該当する世帯とする。(令和3年1月1日現在)

- (1) ひとり親世帯(母子・父子世帯)
 - (2) 両親のいない子の世帯
- ただし、下記の世帯は除く。
- (1) 生活保護を受給している世帯
 - (2) 事実上の婚姻関係が認められる世帯

祝品の内容

新入学児童一人につき体操服上下、ハーフパンツ、半そで1セット(名前刺しゅう入り)
※詳細については、各小学校の入学説明会でチラシを配布いたします。

問い合わせ先

社会福祉協議会

TEL

銚田本所 32-5831
旭支所 37-3571
大洋支所 34-5200

多くの善意をありがとう

期間:令和2年9月5日~令和2年12月4日現在

善意金

●福祉一般へ預託
浅倉末子さん 100,000円



(株)旭スチール建設工業 50,000円
セイミヤ舟木店(募金箱) 13,592円
匿名 3,000円
匿名 3,000円
●児童福祉へ預託
匿名 1,500円
●低所得者福祉へ預託
人見弘美さん 10,000円
大洋地区民生委員児童委員協議会 54,000円
匿名 1,500円

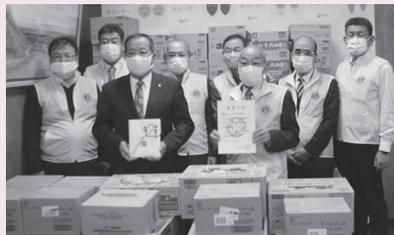
使用済切手・テレフォンカード等

三木明雄さん 使用済切手
浅沼敏子さん 使用済切手
相川水産加工 使用済切手
株式会社ヤマザキ 使用済切手
銚田舟木郵便局 使用済切手
茨城県退職公務員連盟鹿島支部旭分会
使用済切手、書損じハガキ1枚
茨城県退職公務員連盟鹿島支部銚田分会
使用済切手、書損じハガキ4枚、
使用済テレフォンカード1枚
郡司自動車サービス 使用済切手
ゆかりの会 使用済切手
春の場所 使用済切手
匿名 書損じハガキ14枚
匿名 使用済切手

善意品

黒澤恵美子さん 肌着6点
赤尾光枝さん ルームシューズ

築場美智子さん 編み物 計12点
北河景子さん 車いす等 計3点
茨城県退職公務員連盟鹿島支部大洋分会 タオル112本
茨城県退職公務員連盟鹿島支部旭分会 タオル等 計156点
茨城県退職公務員連盟鹿島支部銚田分会 タオル等 計308点
(旬)鹿行段ボール
トイレットペーパー 96ロール入5箱
竹トンボの会 えりまき9枚
いばらきコープ生活協同組合
大人用紙おむつ48袋、尿取りパット33袋
手話サークル「てと手」
石鯰15個、ティッシュBOX20箱
第一生命保険株式会社 タオル66本
匿名 手作りマスク7枚
匿名 未使用ハガキ8枚、未使用切手3枚
匿名 未使用ハガキ67枚
匿名 洗剤7点
匿名 毛布等 計19点
匿名 タオル81本
匿名 タオル等 計11点
匿名 金券類 計6点
匿名 フラワーアレンジメント作品 計59点
匿名 石鯰等 計12点
匿名 布団カバー等 計8点
●やさしさのかけはしプロジェクトへ預託
佐藤静江さん 保存食品 計15点
第一保育所 野菜13.5kg
手話サークル「てと手」保存食品 計12点
ゆかりの会 保存食品 計8点
銚田ライオンズクラブ
保存食品 計73点(1,128食)



匿名 米1.7kg、保存食品 計15点
匿名 米30kg
匿名 保存食品 計10点
匿名 米20kg
匿名 米30kg、保存食品 計9点
匿名 米1.5kg、保存食品 13点
匿名 米30kg
匿名 保存食品 計8点
匿名 保存食品 計17点
匿名 米45kg、保存食品 計13点
匿名 野菜60kg
匿名 保存食品 計8点
匿名 野菜90kg
匿名 米20kg、保存食品 1点
匿名 米30kg
匿名
匿名 米1.6kg、野菜2.7kg、保存食品 計17点
匿名 保存食品 計4点
匿名 米30kg
匿名 保存食品 計11点

【思いやり募金】

株式会社ヤマザキ 2,744円
伊藤理容所 11,506円
洋食亭ときわ 3,688円
久家動物病院 17,135円
いち政 4,000円
札クリニック 3,826円
ミートセンター菊地 1,469円
ほっとパーク銚田 1,080円
グリルあらの 8,829円
ヤマデン新銚田店 131円
ほかほか弁当 いけだ屋 2,067円
とっぷさんと大洋 125円
鹿島灘海浜公園 3,160円
有限会社 糸丸木 1,331円
銚田市更生保護女性会 7,497円
老人福祉センターともえ荘 2,498円
銚田市社会福祉協議会 銚田本所 3,783円

福祉の「め」

委員会活動を通して



旭南小学校 6年
大黒屋 海斗

ぼくは、環境のために何かいいことをしたいという気持ちから環境JRC委員会に入りました。ここでは、募金活動やゴミ拾い、校内の掲示物の張りかえ、ゴミの分別等いろいろな活動を行ってきました。その中でもとても気になったことがありました。ゴミ問題です。

毎月第一金曜日の「環境デー」には、登校時に、登校班ごとにゴミを拾い、僕たちの委員会で分別をします。また、毎週月曜日には、校内のゴミ拾いを行います。どちらもいつもびっくりするのが、ゴミの多さです。「環境デー」の時は毎回ゴミ袋一袋分くらいの燃えるゴミが集まります。その他にも缶やビンだけでなく、肥料が入っていた大きな袋、金属の棒などを回収したこともありました。「どうしてこんなにゴミが捨てて

あるのだろう」といつも考えてしまいます。道ばたにゴミを捨てる身勝手な人がいると考えると残念な気持ちになります。

校内のゴミ拾いの時、お菓子の袋がとても多く捨てられているときがありました。これは土曜日や日曜日に学校に遊びに来た人が捨てていると思うので、とても残念です。捨てている人は、これぐらいなら大丈夫だろうという気持ちがあるのかもかもしれませんが、もし自分の家の庭に捨てられていたらどんな気持ちになるのか考えてもらいたいです。

ぼくは、こんなにたくさんゴミが捨てられているなんて、なんだか悲しい気持ちになります。でも、自分たちの活動で汚れていたところがきれいになることはとても気持ちがいいです。今後は、海岸清掃ボランティアやゴミを拾うボランティア団体「グリーンボード」の活動にも参加してみたいです。そして、町も人の気持ちもきれいな地域になってほしいと思っています。

家族に感しや



鋒田南小学校 3年
敦賀 陽彩

ぼくには、やさしい時もあれば、こわい時もある、三人の家族がいます。やさしい時は、分からない勉強を教えてください。こわい時は、よいいなことをしておられる時です。お母さんやお父さんは、毎朝、ごはんを作ってくれたり、雨の日には、バスでいまで車で送ってくれたりします。ぼくが学校から帰ってくると、じゅくへの送りむかえもしてくれま

す。こういうことをしてくれるのは、みんな、ぼくのためにやってくれているのだなと思います。ぼくは勉強をしていて分からないことがあると、まず、教科書やノートをふり返るようにしています。それでも分からない時には、お母さんやお父さんが教えてください。自分で考えて問題をいたら、お母さんやお父さんができているか見てくれます。そんな時にぼくはいつも、「お母さんやお父さんみたくにすぐに計算ができるようになりたいな。」と思います。

守りたい地域のきずな



白鳥西小学校 6年
下河邊 翔生

そして、ぼくが家族が一番感しやしていることは、いつも元気でいてくれることです。朝起きたら、みんな朝ごはんを食べて、お父さんは仕事へ行き、ぼくは学校、妹は幼稚園へ行きます。お母さんは送りむかえやお家の仕事をしてくれます。みんながいつも元気でいてくれるので、ぼくは、とてもうれいんです。これからぼくは、家族にやってみようとしていることを一つずつ自分できるところにして、家族のためにできることをどんどんふやしていきたいです。

ぼくが住んでいる地域には、ぼく達の成長を見守ってくれているたくさんの方がいます。例えば、毎日横断歩道に立って、安全に横断できるように見守ってくれているおじいさん。そのおかげで、ぼくは、毎日安心して登校できています。六年生になって、登校班の班長になり、おじいさんのありがたみをより感じるようになりました。

また、ぼくの学校には、「ふるさと祭り」という行事があります。地域の人達に昔遊びを教えてもらったり、つきたてのおもちと一緒に食べたりしています。この行事があることで、地域の人の距離がぐんと縮まるような気がします。だから、この「ふるさと祭り」がぼくは大きいです。

このように、ぼくは地域の人に支えられ、温かく接してもらっています。そして、ぼくも地域の人の役に立つことをして恩返しをしたいと思うようになりました。

ある朝ぼくは、登校中に近所のおばあさんに声をかけられました。おばあさんは、店の鍵を家の中に忘れてしまったそうです。あいにく、家の扉がつかかって少ししか開かないため、家の中に入れず困っていました。おばあさんに頼まれぼくは、扉のすき間から家に入って鍵を取ってあげました。おばあさんがとても喜んでくれたので、ぼくもうれしくなりました。そして、ぼくにも何か人の役に立つことができるんだと少し自信がもてました。

これからも地域の人達に感謝して、ぼくにもできることをやっていきたいと思えます。そして、地域のきずなが途切れないように大切に守っていききたいです。

初めての松葉杖体験



鉾田北中学校 1年
新堀 翔大

「痛！」

今まで味わったことのない痛みが走りました。

その日は、サッカーの試合がありました。試合後に足に違和感を覚え、歩くのが精一杯でした。医師から「ひびが入っている。」と告げられ、その日から松葉杖の生活がスタートしました。学校へ行くと、友達も僕の姿を見るなり、ビックリして、「どうしたの。」「骨折したの。」

と声をかけてきました。それから毎日僕の荷物を持ってくれたり、移動する時もつき添ってくれたりしました。

松葉杖での生活は、とても大変でした。普段何気なく歩いている道でも、段差があったり、坂があったりして、すべてが転びそうになったことが何度かありました。階段の上り下りが一番怖かったので、友達の手はとても有難いと感じました。

それでも僕の学校は、廊下が広く、エレベーターも使用することができ

安心して生活することができました。バリアフリーとは、こういう事なのかなと思えました。

障害を持っている人はたくさんいます。その人達も安心して生活できる環境があるってとても大切な事だと思いました。まだまだいろいろな所で、障害を持っている人達が自由な生活をしていると思いました。

僕は、一ヶ月程で松葉杖生活は終わり、自由に走ったり、サッカーをしたりすることができるようになりました。この体験を機に、これからは、困っている人を見かけた時には、自分から声をかけて、僕にできることは何かを考えて、手助けしてあげたいと思いました。

よりよい社会へ



大洋中学校 2年
飯島 礼偉

僕の祖父は、車いす生活をしています。三十六年前に、木から落ちてしまい、下半身が不自由になってしまいました。その時のことを祖父に聞くと、これからの未来が見えなくなり、絶望してしまっただけです。

しかし、家族の支えにより辛い治療やリハビリに耐え元氣を取り戻すことが出来たそうです。七十五歳になりましたが、自分のことは何でも出来ますし、車いすですどこにでも出かけて行きます。

ここまでにはたくさん経験があったと、祖父に聞きました。特にアーチェリーとの出会いが人生を大きく変えたそうです。二〇〇〇年・シドニーパラリンピックに出場するほどの努力をしました。そのような苦難を乗り越えた経験談を聞いて、僕は今の社会に通用するものがあると感じました。

祖父の話から感じたことがいくつもあります。まずは、車いすマークの駐車場に、一般の人が駐車していて、祖父が車を止められないことがよくあるそうです。そこから、障がいをもつ人への理解の低さが感じられます。

次に、外出の際、段差が多いために、車いすで移動しづらいそうです。そこからは、社会のバリアフリーに対する意識の低さが感じられます。

全ての人が生活しやすい社会にするためには、自分のことを考えるだけではなく、他の人を思いやる気持ちをもって、生活していくことが大切だと考えます。

保育所(園)幼稚園児の作品

あどけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育むことも大切です。市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。



「ひまわりタウン」

11月23日が勤労感謝の日ということで、普段お世話になっているお店に感謝の気持ちを込めてそのお店や将来就きたい仕事を描きました。大人になったらどんな職業に就くのか、どのような街をつくっていってくれるのか楽しみです。

銚田市立銚田幼稚園 5歳児(ひまわり組)



「サンタさんへ」

クリスマスに向けて、子どもたちとお手紙を書きました。まつ組みんなの願いが叶いますように…

メリークリスマス♥
銚田市立第一保育所 5歳児(まつ組)



「みんなの“ありがとう”とどきますように」

優しい心を持ったきりん組の子どもたち。ロケットと一緒に“みんなのありがとう”の気持ちが多くの人にとどきますように。

あかつき保育園 5歳児(きりん組)

ゆたかなふれあい



ふれあいいいきサロン
串挽小町会(銚田地区)

私達「串挽小町会」は、全員女性で二十四名の方々が登録し活動しています。

住みごこちのよかったこの地域が少しずつ変化し、危機感を抱くようになりました。少子高齢化、核家族化、高齢者一人暮らし、空き家問題など様々です。そして人との関わりも希薄の様に感じました。やりきれない気持ちになり地域の方々に相談したところ、皆さんも同じような気持ちでいたことを知りました。

住み慣れた地域で、いつまでも元気に楽しく暮らしていきたいと、5年前にサロンをたちあげました。結成した当初は手さぐりの状態でしたが、会員の方々の熱意で進めていくこ



とが出来ました。

これまでに老人ホーム訪問、ハイキング、小旅行、議会傍聴、作品展、バザー、食展会、花壇づくり、料理や体操など実施してきました。毎回打ち合わせや準備も大変でしたが、仲間とできる喜びの方が大きかったです。



高齢者クラブの方々との交流も図りました。レクリエーション、作品展、バザー、食展会。ある時は、区長さんを囲んで地域の問題や地域にまつわる興味深い話を聞く機会も設けました。

今年度より公民館開放を試みることにし、ハッピータイムとネーミングしました。月一回実施しますが、この時間はリラックサして趣味を楽しんでいます。ゆったりとした時間が流れ、幸福な気持ちに浸っています。これからも笑顔で元氣いっぱい地域の皆さんと、取り組んでいきたいと思えます。

串挽小町会代表 郡司 典子

視覚障害など目の不自由な方へ... 視覚障害など目の不自由な方へ、点字ボランティアが点訳、音訳ボランティアが朗読した「社協だより」をお届けしています。希望される方は、銚田市社会福祉協議会ボランティア活動センターへお申込みください。